

自動測色器マウンタ(17)

ユーザーズガイド

本書は、本機の使用方法、メンテナンス方法、トラブル対処法などを説明しています。

目的に応じて必要な章をお読みください。

マークの意味

警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。

重要 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、本製品が損傷したり、本製品、プリンタドライバやユーティリティが正常に動作しなくなる場合があります。この表示は、本製品をお使いいただく上で必ずお守りいただきたい内容を示しています。

参考 補足説明や参考情報を記載しています。

 関連した内容の参照ページを示しています。

掲載画面

- 本書の画面は実際の画面と多少異なる場合があります。また、OSの違いや使用環境によっても異なる画面となる場合がありますので、ご注意ください。
- 本書に掲載する Windows の画面は、特に指定がない限り Windows 7 の画面を使用しています。

掲載イラスト

本書に掲載する測色器のイラストは、特に記載がない限り ILS20EP を使用しています。

Windows の表記

Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版
Microsoft® Windows Vista® operating system 日本語版
Microsoft® Windows® 7 operating system 日本語版
Microsoft® Windows® 8 operating system 日本語版
Microsoft® Windows® 8.1 operating system 日本語版

本書では、上記の OS (オペレーティングシステム) をそれぞれ「Windows XP」、「Windows Vista」、「Windows 7」、「Windows 8」、「Windows 8.1」と表記しています。またこれらの総称として「Windows」を使用しています。

Mac OS の表記

Mac OS X v10.5 以降
本書では、上記各オペレーティングシステムを「Mac OS X」と表記しています。

商標

「EPSON」、「EPSON EXCEED YOUR VISION」、「EXCEED YOUR VISION」はセイコーエプソン株式会社の登録商標または商標です。
Microsoft, Windows, Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
Mac, mac OS は米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。
その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品 (ソフトウェアを含む) は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

本製品の不具合に起因する付随的損害について

万一、本製品 (添付のソフトウェアなども含みます) の不具合によって所期の結果が得られなかったとしても、そのことから生じた付随的な損害 (本製品を使用するために要した諸費用、および本製品を使用することにより得られたであろう利益の損失など) は、補償いたしかねます。

本製品の使用限定

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認のうえ、ご判断ください。

本製品の廃棄

事業所など業務でお使いのときは、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。
一般家庭でお使いのときは、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。

もくじ

ご使用の前に	4
各部の名称と働き	4
自動測色器マウンタ (17)	4
測色器 (オプション)	5
取り扱い上のご注意	6
測色器	6
バッキング	6
マウンタ	6

本機の使い方	7
作業の流れ	7
電源について	7
対応用紙	8
マウンタ装着後のご注意	9
測色の手順	9
自動測色器ユーティリティ起動手順	9
カラーキャリブレーション	9
測色ジョブの作成と実行	10

メンテナンス	11
各部のクリーニング手順	11
測色器のクリーニング	11
バッキング / 白基準タイル表面のクリーニング	12
紙押さえ板のクリーニング	13
用紙ガイドユニットのクリーニング	14

困ったときは	15
エラーメッセージが表示されたとき	15
トラブルシューティング	16
用紙の表面または裏面にインクが付着する	16
自動測色器ユーティリティがエラー終了した	16
測色データに異常を感じる	16
お問い合わせいただく前に	16
エプソンのホームページの Q&A	16
トラブルが解消されないときは	16

付録	17
移動と輸送	17
システム条件	17
仕様一覧	17

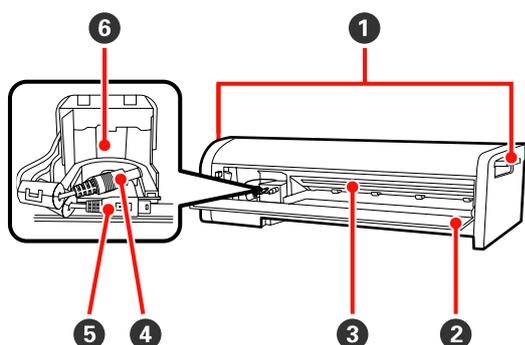
各種お問い合わせ先	19
------------------------	-----------

ご使用前に

各部の名称と働き

自動測色器マウンタ (17)

正面



① 取っ手

自動測色器マウンタ (17) (以降はマウンタ) の取り付けまたは取り外し時につかむ場所です。

② 前面カバー

測色器の取り付け、取り外し、ケーブルの接続時やメンテナンス時に開閉します。

重要

上記以外のときは前面カバーを開けないでください。機器の動作に支障をきたすことがあります。

③ 紙押さえ板

測色時に用紙を押さえて固定します。

④ ILS DC ケーブル

測色器に電源を供給するケーブルです。

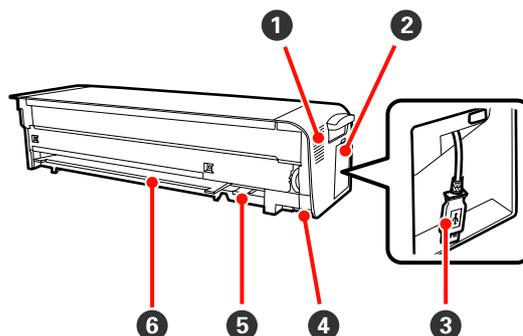
⑤ ILS 通信ケーブル

測色器からデータを取得する通信ケーブルです。

⑥ 測色器キャリッジ

測色器を取り付ける部分です。

背面



① 通風口

外気を取り込んでプリンターで印刷した測色チャートを乾燥させます。

通風口をふさいだり詰まらせたりしないでください。外気が取り込めず、印刷物を十分に乾燥できなくなります。

ホコリなどがたまったときは、取り除いてください。

② 側面カバー

プリンター接続用ケーブルの接続、取り外し時に開閉します。

③ プリンター接続用ケーブル

プリンターとマウンタを接続するための通信ケーブルです。

④ 電源コネクタ (底面)

プリンターに接続して電源を供給します。

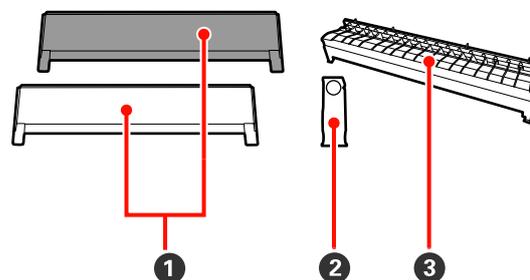
⑤ 白基準タイルホルダー挿入スロット

白基準タイルホルダーを挿入します。

⑥ バックリング挿入スロット

白または黒のバックリングを挿入します。

付属品



① バックリング

測色時に用紙の下敷きとなる板です。黒または白のどちらかをマウンタに取り付けて使用します。

参考

バックリングは用途によって白と黒を使い分けてください。以前から測色器を使用されている場合は、その仕様に合わせてください。

② 白基準タイルホルダー

白基準タイルを格納します。

③ 自動測色器マウンタ用 用紙ガイドユニット

マウンタ使用時に装着します。

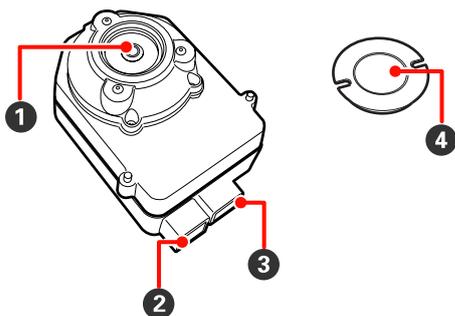
用紙の経路を補正します。

測色器 (オプション)

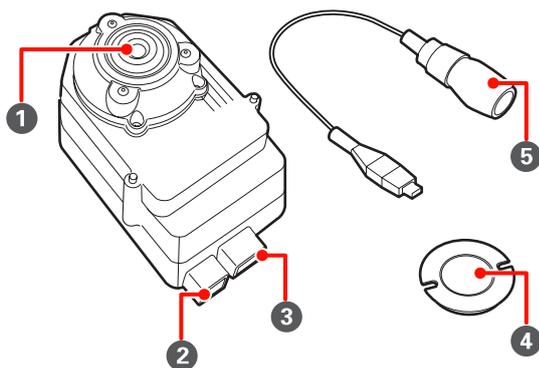
参考

本機は、測色器がないと動作しません。別オプションの測色器をお買い求めください。

ILS20EP/ILS20EPUV



ILS30EP



① レンズ

測色時に印刷物をここからスキャンします。

② ILS DC コネクター

ILS20EP/ILS20EPUV は、マウンタ (正面) にある測色器キャリッジの ILS DC ケーブルに直接接続します。

ILS30EP は、ここに DC コネクター接続ケーブルを接続して、測色器キャリッジの ILS DC ケーブルに接続します。

③ 通信コネクター

マウンタ (正面) にある測色器キャリッジの ILS 通信ケーブルに接続します。

④ 白基準タイル

測色値の基準となる白いタイルです。

白基準タイルホルダーにセットして使用します。

重要

測色器と白基準タイルは必ず購入時に同梱されていたセットでご使用ください。

工場では測色器と白基準タイルをセットで調整して、同じ番号をつけて出荷しています。複数台ご購入の場合は必ず白基準タイルと同じ番号の測色器をセットでご使用ください。

M252900
00621

白基準タイルのラベル

CAL PLAQUE
000621

測色器のラベル

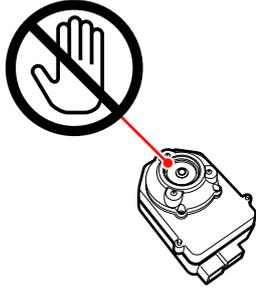
⑤ DC コネクター接続ケーブル (ILS30EP のみ)

測色器の ILS DC コネクターと測色器キャリッジの ILS DC ケーブルに接続します。

取り扱い上のご注意

測色器

- レンズに直接手で触れたり、下向きに置いたりしないでください。
傷や汚れが付くと測色結果に影響を及ぼすことがあります。



- 白基準タイルの白い面を触らないでください。
傷や汚れが付くと測色結果に影響を及ぼすことがあります。



！重要

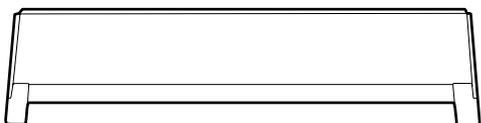
白基準タイルを割ったりなくしたりしないでください。白基準タイルのみの購入はできません。測色器とセットでご購入いただくこととなります。

バックング

- バックングの表面を傷付けたり、汚したりしないでください。
傷や汚れが付くと測色結果に影響を及ぼすことがあります。

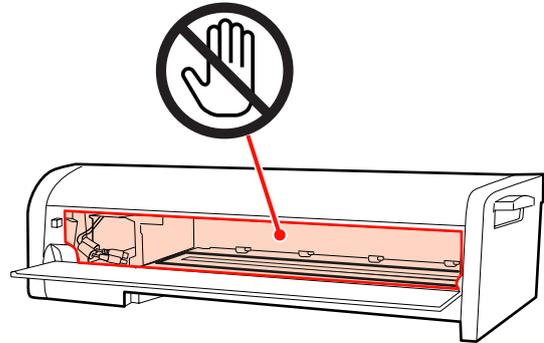
！重要

バックングは大変壊れやすい部品です。落としたり、ぶついたりしないでください。



マウンタ

- 動作中は、下図の部分には触らないでください。
マウンタ内部への不必要な接触は機器の動作に支障をきたすおそれがあります。



本機の使い方

本機はプリンターに装着して使用する自動測色システムです。対象プリンターは、カタログやプリンターのマニュアルでご確認ください。

ここでは、本機のソフトウェアディスク（自動測色器 Software Disc）に収録されている自動測色器ユーティリティを使用した手順を説明します。

！重要

自動測色器ユーティリティを使用するには、お使いのコンピューターに、エプソン製プリンタードライバーを事前にインストールしてください。エプソン製プリンタードライバー非対応の製品ではお使いいただけません。

作業の流れ

① プリンターの確認

プリンターのセットアップ（本体セットアップ、プリンタードライバーインストール）が完了し、電源が入って使用できる状態になっていることを確認してください。



② カラーキャリブレーション 「カラーキャリブレーション」9 ページ

自動測色器ユーティリティからカラーキャリブレーション（ColorBase）を起動してプリンターのキャリブレーションを行います。



③ 測色 「測色ジョブの作成と実行」10 ページ

自動測色器ユーティリティで「測色ジョブの作成と実行」を起動し、実行する作業を選択します。また、「ジョブの状態確認」を起動すると、現在実行中のジョブの状態が確認できます。

詳細は各画面上のヘルプをご覧ください。

電源について

本機には電源を入れたり切ったりするためのスイッチはありません。

プリンター接続用ケーブルを接続後、プリンターの電源を入れると同時に、電源が入ります。

プリンターの電源を切ると、電源が切れます。

！重要

本機を使用するときは、プリンター接続用ケーブルを接続してからプリンターの電源を入れてください。プリンターの電源が入っている状態でプリンター接続用ケーブルを接続すると、本機が正常に動作しません。

対応用紙

本機の対応用紙は、以下の通りです。



自動測色器ユーティリティの対応用紙はヘルプでご確認ください。

用紙サイズ (ロール紙/単票紙共通)	■ 自動測色 用紙幅: 203mm (8 インチ) ~ 432mm (17 インチ) 用紙長: 254mm (10 インチ) ~ 594mm (A2 縦長) * ■ 手差し測色 用紙幅: 203mm (8 インチ) ~ 432mm (17 インチ) 用紙長: 323mm ~ 594mm (A2 縦長)	
用紙種類	ロール紙	プロフェッショナルフォトペーパー<厚手光沢> プロフェッショナルフォトペーパー<厚手半光沢> プロフェッショナルフォトペーパー<厚手絹目> プロフェッショナルフォトペーパー<厚手微光沢> プロフェッショナルフォトペーパー<薄手光沢> プロフェッショナルフォトペーパー<薄手半光沢> PX/MC プレミアムマット紙 プロフェッショナルブルーフィンギングペーパー Epson Proofing Paper White Semimatte UltraSmooth Fine Art Paper Textured Fine Art Paper
	単票紙	写真用紙<光沢> 写真用紙 <絹目調> フォトマット紙/顔料専用 Ultra Smooth Fine Art Paper 画材用紙/顔料専用 Velvet Fine Art Paper

* ロール紙では測色動作上、用紙長の上限はありませんが、測色精度が保証できる長さは A2 縦長 (594.0mm) までです。

マウンタ装着後のご注意

プリンターで印刷するときは、以下の制限事項があります。

- 自動カット時の最短の用紙長さ（通常 80-127mm）が 210mm になります。
- 単票紙のスタック可能枚数は全用紙種類、1 枚になります。
- 前面手差しによる給紙はできません。
- ロール紙での四辺フチなしカットはできません。

また、測色動作中は以下の状態になりやすいのでご注意ください。

- 光沢紙は用紙表面に擦り傷やプリンターのローラー跡が付くことがあります。
- 用紙の種類や印刷内容によっては、印刷後に用紙が波打って、測色精度に影響が出ることがあります。
- 印刷後、乾燥時間が短いと用紙表面に紙押さえ板の跡が残って、測色精度に影響が出ることがあります。

詳細はプリンターのマニュアルを参照してください。

測色の手順

ここでは本機用の動作ツール自動測色器ユーティリティを使用した測色の作業手順を紹介します。各設定項目の詳細はヘルプをご覧ください。

参考

ICC プロファイルは自動測色器ユーティリティだけでは作成できません。市販のプロファイル作成用ソフトウェアが別途必要です。

自動測色器ユーティリティ起動手順

自動測色器ユーティリティの起動手順は、以下の通りです。

Windows の場合

[スタート] - [すべてのプログラム] - [自動測色器ユーティリティ] - [自動測色器ユーティリティ] の順にクリックします。

Mac OS X の場合

[ハードディスク] - [アプリケーション] (Applications) フォルダー - [Epson Software] フォルダー - [自動測色器ユーティリティ] フォルダー - [自動測色器ユーティリティ] アイコンの順にダブルクリックします。

カラーキャリブレーション

自動測色器ユーティリティでは、高精度で色差が少ない印刷品質を保持するためにカラーキャリブレーションを実施できます。

2 週間～1 ヶ月に 1 度、定期的にカラーキャリブレーションを行うことをお勧めします。

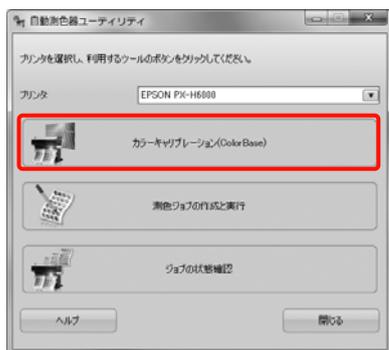
- 1 プリンターの電源を入れ、用紙をセットします。
用紙のセット方法は、プリンターのマニュアルを参照してください。

[📄 「対応用紙」 8 ページ](#)

- 2 自動測色器ユーティリティを起動します。

[📄 「自動測色器ユーティリティ起動手順」 9 ページ](#)

- 3** [カラーキャリブレーション (ColorBase)] をクリックします。



参考

カラーキャリブレーション (ColorBase) は、Windows の場合はプリンタードライバのユーティリティ画面から、Mac OS の場合は [EPSON Printer Utility 4] から起動できます。

- 4** 画面の指示に従ってカラーキャリブレーションを行います。



各設定項目の詳細は [ヘルプ] をクリックすると表示されます。

測色ジョブの作成と実行

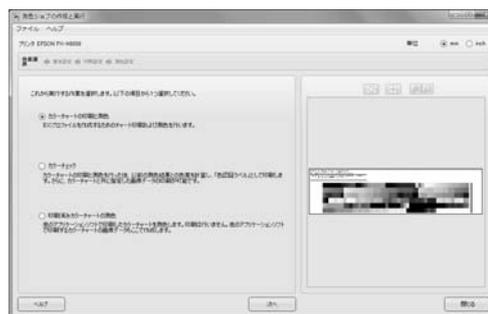
以下に、[測色ジョブの作成と実行] を使用した基本的な測色手順を紹介します。

各設定項目の詳細はヘルプをご覧ください。

- 1** プリンターの電源を入れ、用紙をセットします。
用紙のセット方法は、プリンターのマニュアルを参照してください。
📖 「[対応用紙](#)」 8 ページ
- 2** 自動測色器ユーティリティを起動します。
📖 「[自動測色器ユーティリティ起動手順](#)」 9 ページ
- 3** [測色ジョブの作成と実行] をクリックします。



- 4** 実行する作業を選択します。



以降はそれぞれの作業のウィザードに従って設定を行ってください。

各設定項目の詳細は [ヘルプ] をクリックすると表示されます。

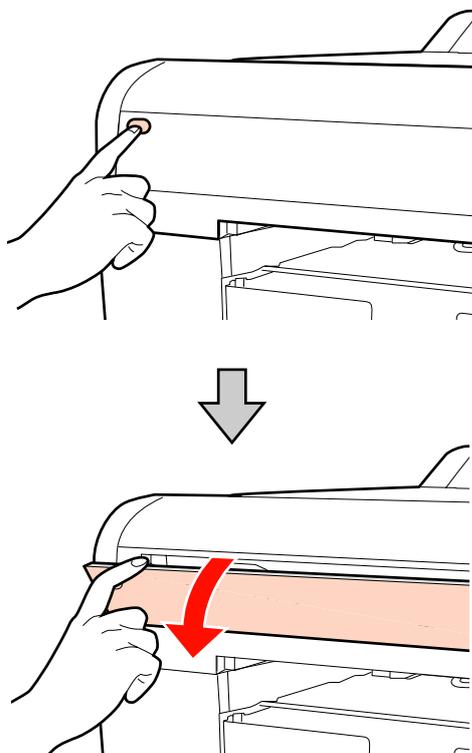
メンテナンス

本機をいつでも良い状態で使用できるように、各部のクリーニングを行ってください。

各部のクリーニング手順

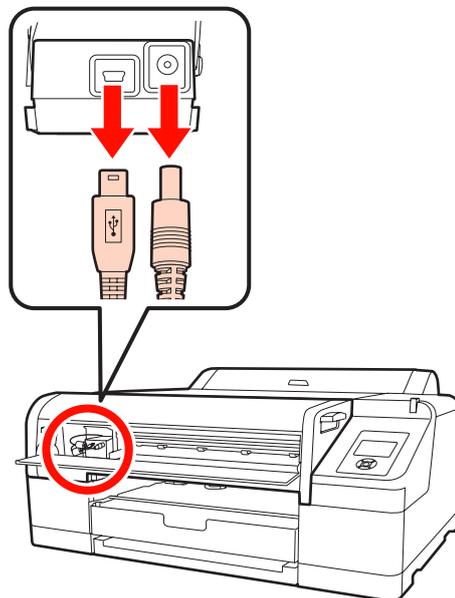
測色器のクリーニング

- 1 プリンターの電源を切って、マウンタの前面カバーを開けます。

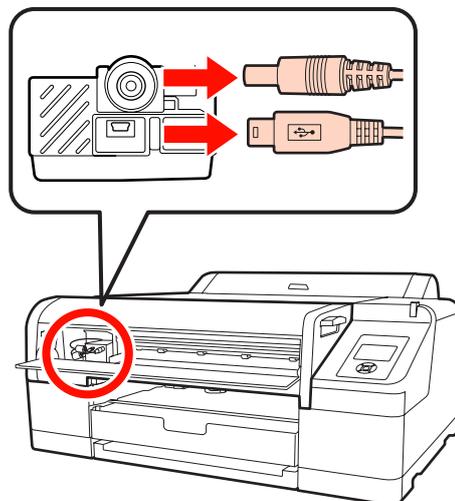


- 2 測色器に接続されているケーブル 2 本を抜きます。

ILS20EP/ILS20EPUV



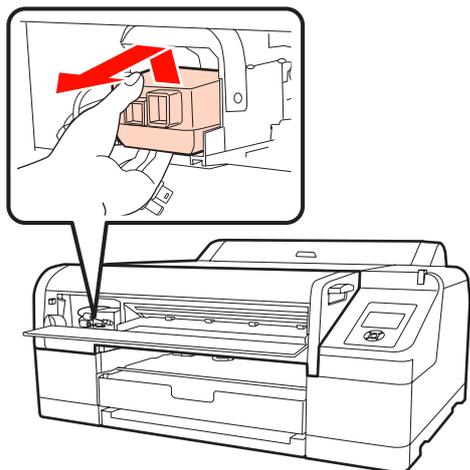
ILS30EP



- 3 測色器の後部を少し持ち上げてから取り外します。

！重要

測色器を取り外すときは、落としたりぶつけたりしないでください。測色器のレンズが傷ついたり、測色器が壊れたりするおそれがあります。



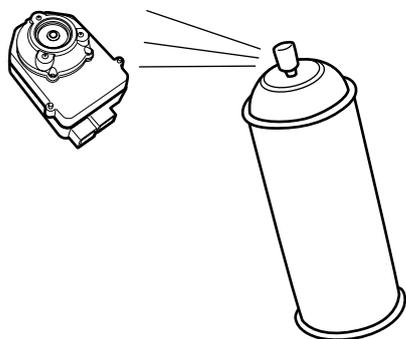
- 4** 測色器のレンズ面に付着したホコリやゴミを空気で吹き飛ばして取り除きます。

⚠ 警告

本機の内部や周囲で可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。

!重要

測色器のレンズには触れないでください。

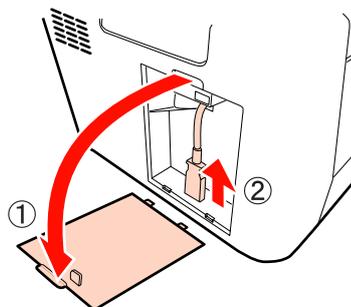


- 5** 測色器をマウンタに取り付けて、マウンタの前面カバーを閉じます。

📖 『自動測色器マウンタ (17) セットアップガイド』 (冊子)

バックング / 白基準タイル表面のクリーニング

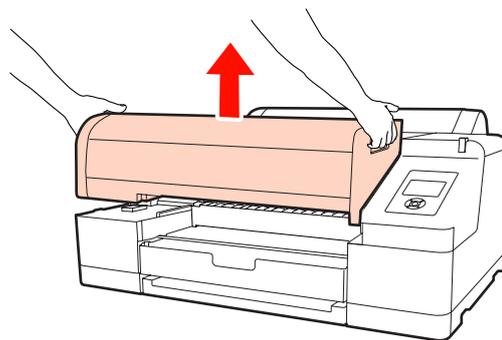
- 1** 側面カバーを開けて、プリンター接続用ケーブルを外します。



- 2** マウンタを取り外します。

⚠ 注意

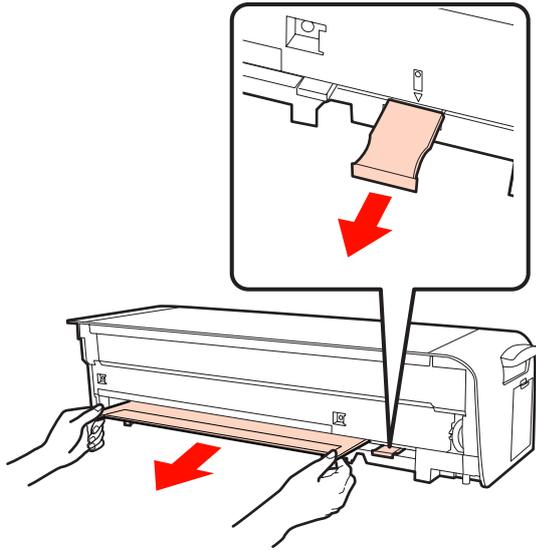
本機を持ち上げる際は、無理のない姿勢で作業してください。無理な姿勢で持ち上げると、けがをすることがあります。



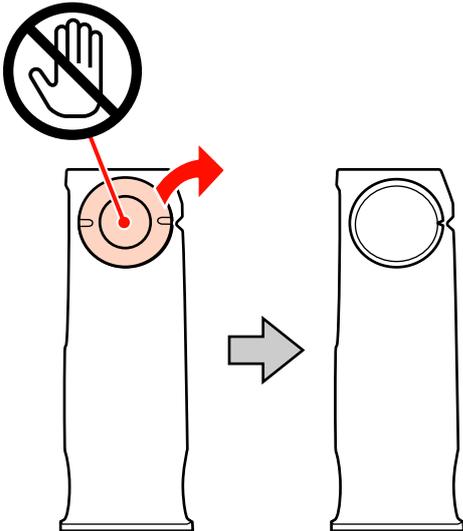
- 3** マウンタを後ろ向きにしてバックングや白基準タイルホルダーを取り外します。

!重要

バックングは大変壊れやすいので、取り外すときは落としたりぶついたりしないでください。

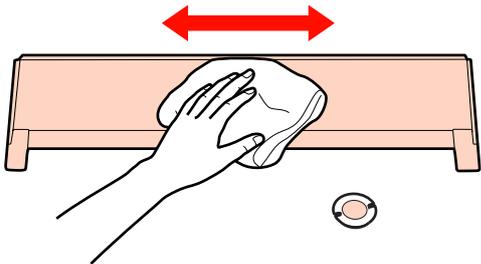


- 4** 白基準タイルホルダーから、白基準タイルを取り外します。



- 5** 乾いた柔らかい布で、白基準タイルやバックングの表面の汚れをふき取ります。

汚れがひどいときは水に柔らかい布を浸し、よく絞ってからふいてください。その後、乾いた柔らかい布で水気をふき取ってください。

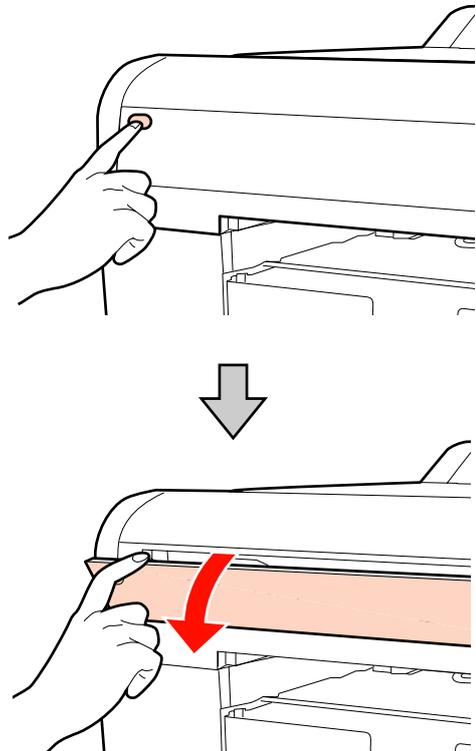


- 6** 『自動測色器マウンタ (17) セットアップガイド』(冊子)を参照してマウンタのセットアップをします。

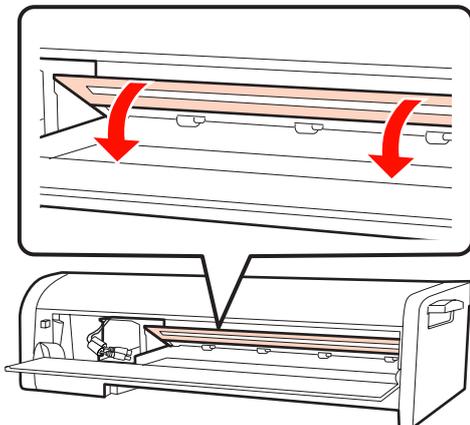
☞ 『自動測色器マウンタ (17) セットアップガイド』(冊子)

紙押さえ板のクリーニング

- 1** プリンターの電源を切って、マウンタの前面カバーを開けます。

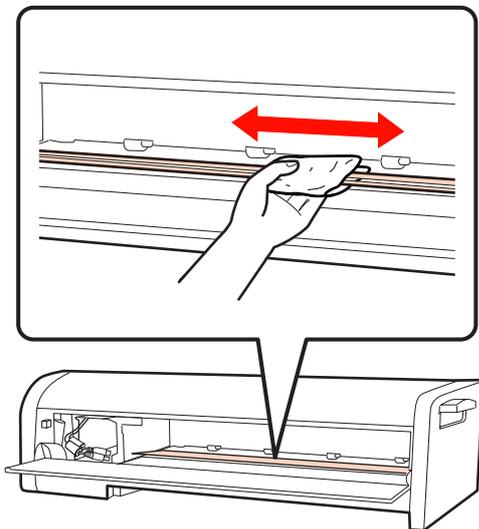


- 2** 紙押さえ板の両端を持って手前に倒します。



- 3** 中性洗剤を少量入れた水に柔らかい布を浸し、よく絞ってから図のように紙押さえ板の下側（用紙に接する面）の汚れをふき取ります。

その後、乾いた柔らかい布で水気をふき取ってください。

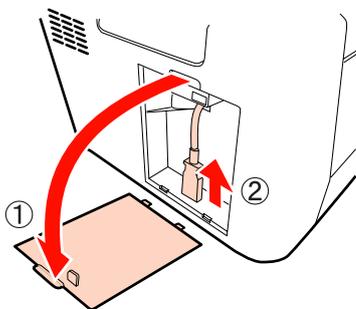


- 4** マウンタの前面カバーを閉じます。

用紙ガイドユニットのクリーニング

プリンターのオートカッターを使用すると、用紙ガイドユニットに、用紙カット時の紙粉（白い粉のようなもの）がたまります。以下の手順で定期的（1カ月に1回程度）に紙粉を取り除いてください。

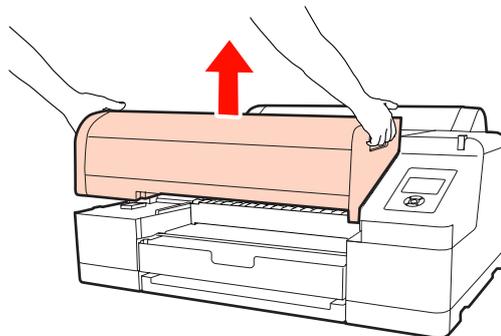
- 1** 側面カバーを開けて、プリンター接続用 USB ケーブルを外します。



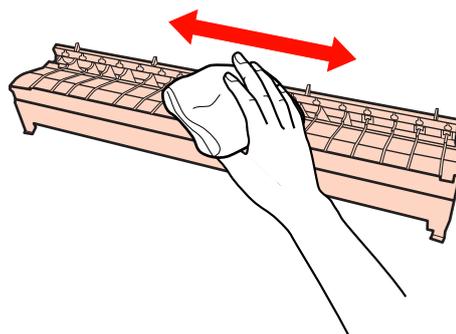
- 2** マウンタを取り外します。

⚠ 注意

本機を持ち上げる際は、無理のない姿勢で作業してください。無理な姿勢で持ち上げると、けがをすることがあります。



- 3** 用紙ガイドユニットを取り外してたまった紙粉を取り除きます。



- 4** 用紙ガイドユニットを元に戻して、マウンタを装着します。その後、プリンター接続用ケーブルを接続します。

📖 『自動測色器マウンタ（17）セットアップガイド』（冊子）

困ったときは

エラーメッセージが表示されたとき

本機に関するエラー（正常でない状態）が発生したときは、プリンターの大型アラートランプや操作パネルのランプが点灯してお知らせするとともに画面にメッセージが表示されます。

表示されるメッセージは以下の通りです。エラーメッセージが表示された際は、対処方法の記載を確認し必要な処置をしてください。

エラーメッセージ	対処方法
<p>自動測色器エラー マニュアルを参照して対処方法を確認してください XX</p> <p>(XX にはエラー番号が表示されます)</p>	<p>エラー番号を確認して、以下の対処をしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • エラー番号が 01 と表示されたとき <p>プリンターの電源を切ってからマウンタを取り外します。正しく取り付け直してプリンターの電源を入れてください。</p> <p>☞ 「メンテナンス」11 ページ</p> <p>☞ 『自動測色器マウンタ (17) セットアップガイド』(冊子)</p> <p>再び同じエラーが発生するときは、お買い求めの販売店またはエプソンサービスコールセンターに連絡してください。</p> • エラー番号が 02 と表示されたとき <p>プリンターの電源を切ってからマウンタを取り外して、用紙ガイドユニットを正しく取り付け直します。その後、マウンタを正しく取り付けつけてプリンターの電源を入れてください。</p> <p>☞ 『自動測色器マウンタ (17) セットアップガイド』(冊子)</p> • エラー番号が 13 または 15 と表示されたとき <p>プリンターの電源を切ってからマウンタを取り外します。バックングの周囲に梱包材や異物があれば取り除き、バックングを正しく取り付け直します。マウンタを正しく取り付け直してプリンターの電源を入れてください。</p> <p>☞ 「メンテナンス」11 ページ</p> <p>☞ 『自動測色器マウンタ (17) セットアップガイド』(冊子)</p> <p>あるいは、用紙種類と使用環境に問題ないか確認してください。</p> <p>☞ 「対応用紙」8 ページ</p> <p>☞ 「仕様一覧」17 ページ</p> <p>再び同じエラーが発生するときは、お買い求めの販売店またはエプソンサービスコールセンターに連絡してください。</p> • 上記以外のエラー番号が表示されたとき <p>表示されたエラー番号をお控えの上、お買い求めの販売店またはエプソンサービスコールセンターに連絡してください。</p>
<p>自動測色器未接続 自動測色器のケーブルを接続し、電源を入れ直してください</p>	<p>プリンターの電源を切ってからマウンタのプリンター接続用ケーブルを接続します。ケーブルを正しく接続したらプリンターの電源を入れてください。</p> <p>☞ 『自動測色器マウンタ (17) セットアップガイド』(冊子)</p>

トラブルシューティング

用紙の表面または裏面にインクが付着する

紙押さえ板またはバックングにインクが付着し、用紙に転写されている可能性があります。このようなときは紙押さえ板やバックングのクリーニングをしてください。

🔗 [「メンテナンス」11 ページ](#)

自動測色器ユーティリティがエラー終了した

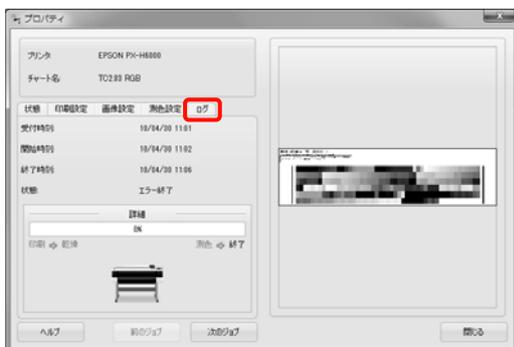
「測色ジョブの作成と実行」で実行中の作業の「状態」が「エラー終了」になったときは、「ジョブの状態確認」を起動してエラー内容を確認してください。各エラーメッセージの対処方法は、自動測色器ユーティリティのヘルプをご覧ください。

エラーメッセージの確認方法は以下の通りです。

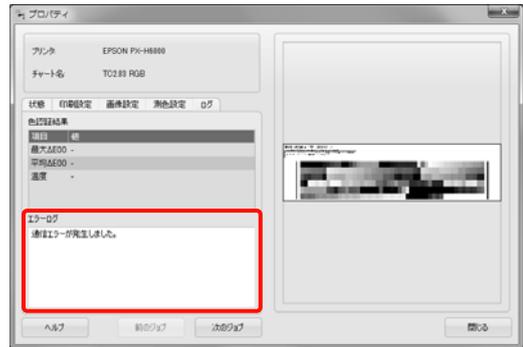
- 1 実行中の作業画面で「ジョブ」 - 「プロパティ」を選択します。



- 2 「ログ」タブをクリックします。



- 3 「エラーログ」に表示されたメッセージを確認します。



測色データに異常を感じる

保存した測色データに異常が感じられるときは、マウンタと測色器の状態を確認し、必要に応じてメンテナンスをしてください。

🔗 [「メンテナンス」11 ページ](#)

お問い合わせいただく前に

トラブルが発生したときは、以下をご確認いただくことで解消できることがあります。

エプソンのホームページの Q&A

エプソンのホームページ (<http://www.epson.jp>) では、お問い合わせの多い内容を Q&A 形式でご紹介しています。

トラブルや疑問の解消にお役立てください。

トラブルが解消されないときは

メンテナンスをしてもエプソンのホームページで確認をしても、トラブルが解消できないときは、お買い求めいただいた販売店、またはエプソンインフォメーションセンターにご相談ください。

🔗 [「各種お問い合わせ先」19 ページ](#)

付録

移動と輸送

本機を輸送するときは、以下をご覧になり、購入時と同じ状態に梱包してください。

マウンタと測色器の取り外し方

🔗 [「メンテナンス」11ページ](#)

再梱包手順

本機 🔗 『自動測色器マウンタ (17) セットアップガイド』 (冊子)

測色器 🔗 測色器に添付の『再梱包手順書』 (シート)

システム条件

本機を使用するためのコンピューターおよびシステムの推奨条件はソフトウェアの ReadMe.txt をご覧ください。

重要

自動測色器ユーティリティをご使用の場合は、エプソン製プリンタードライバーのインストールが必要です。

仕様一覧

本体仕様		
型番	PXHACM17	
測定デバイス	X-Rite ILS20EP (UV フィルタなし)、 X-Rite ILS20EPUV (UV フィルタあり)、 X-Rite ILS30EP	
測色方式	ライン測色	
測色可能幅	422mm	
測定可能長	最大 600mm	
バックング仕様	白/黒 ISO13655 準拠	
環境条件	温度	動作時: 10~35°C 保管時: -20~40°C
	湿度	動作時: 30~80% (非結露) 保管時: 5~85% (非結露)
外形寸法 (W×D×H)	725mm×266mm×193mm	

本体仕様	
重量 (マウンタ単体)	約 8.7kg
電源電圧	入力 DC42V
DC 出力	5.5V/1.0A (測色器電源用)
同梱品	白基準タイルホルダー、バックング (白/黒)、自動測色器マウンタ用 用 紙ガイドユニット

測色器仕様	
型番	ILS20EP、ILS20EPUV、ILS30EP
光源	ILS20EP、ILS20EPUV: タングステンランプ ILS30EP: タングステンランプおよび UV-LED
測定幾何条件	0°/45°
測定口径	直径 3.55mm
視野角	2°/10°
測定条件	ILS20EP: ISO 13655 「M0」 (UV あり) ILS20EPUV: ISO 13655 「M2」 (UV 除去) ILS30EP*1: ISO 13655 「M0」 (UV あり) ISO 13655 「M1」 (D50 シミュレーション) ISO 13655 「M2」 (UV 除去)
分光波長域	400~700nm
分光	測定: 16 ポイント 出力: 31 ポイント
光源タイプ	ILS20EP、ILS20EPUV: A,C,D50,D55,D65,D75,F2,F7,F11,F12 ILS30EP: A,C,D50,D55,D65,D75,F2,F7,F8,F10, F11,F12
測定範囲	0-150% R (反射)
繰り返し精度	最大 0.2 dEcmc/白タイル 最大 0.8 dEcmc/黒タイル

測色器仕様	
器差	ILS20EP、ILS20EPUV: 平均 0.5 dEcmc/BCRA タイル ILS20EP 基準 最大 1.0 dEcmc/BCRA タイル ILS20EP 基準 ILS30EP: 平均 0.5 dEcmc/BCRA タイル ILS30EP 基準 最大 1.0 dEcmc/BCRA タイル ILS30EP 基準
推奨校正頻度*2	1 年
外形寸法 (W×D×H)	ILS20EP、ILS20EPUV: 71.0mm×100.4mm×53.5mm ILS30EP: 71.0mm×107.8mm×53.5mm
重量 (測色器単体)	ILS20EP、ILS20EPUV: 約 130g ILS30EP: 約 160g (DC 接続ケーブル含まず)
同梱品	ILS20EP、ILS20EPUV: 白基準タイル ILS30EP: 白基準タイル、変換ケーブル

*1 アプリケーションソフトウェアで測定条件の切り替え可能

*2 再校正に関するお問い合わせは、エプソンインフォメーションセンターにご相談ください。

[☞ 「各種お問い合わせ先」 19 ページ](#)

測色器を再校正に出すときは、以下の点にご注意ください。

- 再校正は、有償です。(費用は、再校正の内容によって異なります。)
- 測色器と白基準タイルを購入時のセットで再校正に出してください。

!重要

工場では測色器と白基準タイルをセットで調整して、同じ番号をつけて出荷しています。必ず白基準タイルと同じ番号の測色器をセットで校正に出してください。

- 輸送時は、保護材や梱包材を使用して購入時と同じ状態に梱包してください。梱包手順 [☞ 「移動と輸送」 17 ページ](#)

各種お問い合わせ先

●エプソンのホームページ <http://www.epson.jp>

各種製品情報・ドライバー類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。

エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご利用ください。
FAQ <http://www.epson.jp/faq/>

●エプソンサービスコールセンター

修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先

050-3155-8600

○上記電話番号をご利用できない場合は、042-511-2949へお問い合わせください。

●修理品送付・持ち込み依頼先 *一部対象外機種がございます。詳しくは下記のエプソンのホームページでご確認ください。お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠点名	所在地	電話番号
札幌修理センター	〒003-0021 札幌市白石区栄通4-2-7 エプソンサービス(株)	011-805-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563 エプソンサービス(株)	050-3155-7110
東京修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス(株)	050-3155-7120
鳥取修理センター	〒689-1121 鳥取市南栄町26-1 エプソンリペア(株)	050-3155-7140
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス(株)	050-3155-7130
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通関社ビル2F エプソンサービス(株)	098-852-1420

*修理について詳しくは、エプソンのホームページでご確認ください。<http://www.epson.jp/support/>

○上記電話番号をご利用できない場合は、下記の電話番号へお問い合わせください。

・松本修理センター:0263-86-7660 ・東京修理センター:042-584-8070
 ・鳥取修理センター:0857-77-2202 ・福岡修理センター:092-622-8922

●引取修理サービス(ドアtoドアサービス)に関するお問い合わせ先

*一部対象外機種がございます。詳しくは下記のエプソンのホームページでご確認ください。

引取修理サービス(ドアtoドアサービス)とはお客様の希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りにお伺いし、修理完了後弊社からご自宅へお届けする有償サービスです。*梱包は業者が行います。

引取修理サービス(ドアtoドアサービス)受付電話**050-3155-7150**

○上記電話番号をご利用できない場合は、0263-86-9995へお問い合わせください。

*引取修理サービス(ドアtoドアサービス)について詳しくは、エプソンのホームページでご確認ください。<http://www.epson.jp/support/>

●エプソンインフォメーションセンター 製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。

050-3155-8066

○上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8582へお問い合わせください。

●購入ガイドインフォメーション 製品の購入をお考えになっている方の専用窓口です。製品の機能や仕様など、お気軽にお電話ください。

050-3155-8100

○上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8444へお問い合わせください。

上記050で始まる電話番号はKDDI株式会社の電話サービスを利用しています。
 上記電話番号をご利用いただけない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話(一般回線)からおかけいただくか、各◎印の電話番号におかけくださいますようお願いいたします。

●ショールーム *詳細はホームページでもご確認ください。 <http://www.epson.jp/showroom/>

エプソンスクエア新宿 〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル1F
 【開館時間】月曜日～金曜日 10:00～17:00(祝日、弊社指定休日を除く)

●MyEPSON

エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンターをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス!

<http://myepson.jp/>

▶ カンタンな質問に答えて会員登録。

●消耗品のご購入

お近くのエプソン商品取扱店及びエプソンダイレクト(ホームページアドレス <http://www.epson.jp/shop/> または通話料無料0120-545-101)でお買い求めください。(2013年12月現在)

本ページに記載の情報は予告無く変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。
 最新の情報はエプソンのホームページ(<http://www.epson.jp/support/>)にてご確認ください。

エプソン販売株式会社 〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル24階

セイコーエプソン株式会社 〒392-8502 長野県諏訪市大和3-3-5

ビジネス(インク)2013.12